



「第20回全国藩校サミット文京大会」と 記念事業「時代まつりin文京」



全国藩校サミット
文京大会 HP



文京区では令和5（2023）年11月18日、「第20回全国藩校サミット文京大会」を開催します。「全国藩校サミット」は平成14（2002）年から旧藩校所在地で開催されている催しで、初回開催地だった文京区は二度目の開催となります。また当大会開催に向けて、文京区を舞台とした「時代まつりin文京」など、さまざまな記念事業も行われます。

◆近代教育発祥の礎をテーマに「第20回全国藩校サミット文京大会」開催

湯島聖堂から始まった
「全国藩校サミット」

藩校とは江戸時代に各地の藩が藩士の子弟のために設立した教育機関のことで、江戸後期には全国260余の藩に設立されました。「全国藩校サミット」は、それぞれの地域に息づいている藩校の伝統や精神を現代の視点で見直して評価し、次代に生かしていこうという趣旨で、平成14（2002）年から毎年、全国にある旧藩校所在地の持ち回りで開催されています。

第1回目の開催地は、文京区の江戸幕府昌平坂学問所（湯島聖堂）。経済界、教育界の有志が中心となって設立された漢字文化振興会（現漢字文化振興

協会）の呼びかけにより開催が実現しました。戦後、漢字文化が衰微する一方で、外国語の乱用や日本語の乱れなどが広範に見られる状況を憂え、漢字文化を後代にきちんと伝え、受け継いでいくことを基本理念としています。初回のサミットでは、藩校それぞれの沿革や現在の活動状況などの報告、情報交換を行いました。終了後に毎年開催しようという声が集まり、翌年からは会津藩の日新館（福島県会津若松市）、庄内藩の致道館（山形県鶴岡市）、水戸藩の弘道館（茨城県水戸市）、萩藩の明倫館（山口県萩市）等で開催され、第19回福山大会には60の藩校が参加しました。第20回の節目を迎える今年、初回開催地の文京区で再び開催されます。

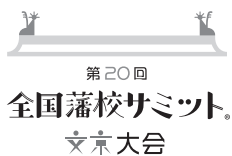
史跡湯島聖堂

元禄3（1690）年、徳川五代将軍綱吉が儒学の振興を図るために聖堂を創建し、上野忍ヶ岡にあった孔子廟を湯島の地に移したのが始まり。その後の寛政9（1797）年、徳川十一代将軍家斉の時代に規模を拡大し、幕府直轄学校「昌平坂学問所」を開設しました。

明治維新後、聖堂と学問所は新政府の所管となり、学問所は大学校・大学と改称されましたが、明治4（1871）年にはこれを廃して文部省が置かれ、儒学の講義の場は歴史を閉じました。大学はその後、東京師範学校（東京教育大学、現在の筑波大学）、東京女子師範学校（現在のお茶の水女子大学）へと発展。東京国立博物館、国立科学博物館、国立国会図書館等の前身は聖堂内に置かれました。明治時代になっても学術・文化の中心であり、学問所としての伝統を受け継いできた湯島聖堂は、近代教育発祥の地として知られることとなりました。大正11（1922）年に国指定文化財史跡に指定。



文京区湯島 1-4-25
公開時間：9時30分～17時（冬季～16時）、土・日曜、祝日には大成殿公開（10時～閉門時間）
閉館日：夏季（8月13日～17日）、年末（12月29日～31日）
入場料：無料（大成殿見学は200円）
<http://www.seido.or.jp>



都立工芸高校の生徒の皆さんに
デザイン制作をしていただいた
大会のロゴマークとマスコット
キャラクター「ゆしまる」

文京大会の開催テーマは「近代教育発祥の礎」。旧昌平坂学問所である「湯島聖堂」を中心とした教育や優れた人材育成の精神を学ぶことで、漢字文化の一層の浸透や振興を図るとともに、歴史的・文化的資源が豊富にある史跡に恵まれた文教の地である文京区の魅力を発信することを目的としています。

大会当日は各地の旧藩主と藩校関係者による会議に続き、一般の方も観覧できる本大会を文京シビックホール大ホールにて行います（事前申込制）。本大会のオープニングでは江戸消防記念会の皆さんによる木遣り、纏い振り、梯子乗りの披露や、藩校活動発表、子どもの論語発表、記念講演会などのプログラムが予定されています。

豊富な史跡に恵まれた 文教の地ならではの大会に

記念事業の第1弾 「将軍・殿様サミット」



「将軍・殿様サミット2023」
当日の様様

令和5（2023）年3月6日、全国藩校サミット文京大会の記念事業第1弾として、文京区主催のシンポジウム「将軍・殿様サミット2023」を文京シビックホール小ホールにて開催しました。文京大会会長である徳川宗家19代当主の徳川家広氏、文京大会副会長であり、一般社団法人漢字文化振興協会会長で水戸藩徳川家15代当主の徳川斉正氏、前福山大会関係者である福山藩阿部家17代当主の阿部正紘氏、結城藩水野家20代当主の水野勝之氏にご登壇いただき、約1時間半に渡って幼少期のエピソードや当主間の交流等、興味深いお話の数々が披露されました。定員300名のところ2倍以上の申し込みがあり、区内在住・在勤・在学者のみを対象としたイベントでしたが、区外からの問い合わせも多くありました。

文京区立肥後細川庭園

熊本藩主細川家の下屋敷の庭園の跡地をそのまま公園にした池泉回遊式庭園。明治15（1882）年に細川家の本邸となり、その後東京都が買収して「新江戸川公園」に。昭和50（1975）年には文京区に移管され、平成29（2017）年に「肥後細川庭園」に名称変更しました。関口台地が神田川に落ち込む斜面地の起伏を活かした庭園は、変化に富んだ景観となっています。湧水を利用した流れは「鍵り水」の手法を取り入れた岩場から芝生への細い流れ。池の背後の台地を山に見立て、その斜面に植えられたモミジやハゼノキの一群が、秋には紅葉した姿を水面に映します。池畔では、毎年11月下旬になると冬の風物詩・松の雪吊りが見られます。



文京区目白台 1-1-22
見学時間：日本庭園は9～17時（11月～1月は16時30分まで）（入園は閉園30分前まで）、松雪園は9～17時
休園日：年末年始（12月28日～翌年1月4日）
入園料：無料
<https://www.higo-hosokawa.jp>

小石川後楽園

「将軍・殿様サミット2023」にもご登壇いただいた水戸藩徳川家の江戸上屋敷内の庭園。寛永6（1629）年初代藩主頼房が築造し、二代藩主光圀に引き継がれて完成した、江戸の大名庭園として現存する最古の庭園です。小石川台地の南端に位置する起伏に富んだ地形と自然林を活かし、日本各地の景勝を模した創設者頼房の庭づくりを受け継ぎ、添景として光圀の代に儒教的思想を反映させた中国趣味が取り入れられました。園内は「大泉水」の「海」の「景」を中心に、周囲に「山」「川」「田園（村里）」などの「景」が連環して配置された回遊式築山泉水庭園。現在は都立の庭園として公開されています。国指定特別史跡・特別名勝。



文京区後楽 1-6-6
開園時間：9～17時（入園は～16時30分）
休園日：年末年始（12月29日～翌年1月1日）
入園料：一般300円、65歳以上150円（小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料）
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index030.html>

◆「時代まつりin文京」をはじめとする記念事業で区の魅力を発信

子どもたちが街を練り歩く「時代まつり行列」は必見

全国藩校サミット文京大会記念事業の中で最も大きな催しが、11月3日に開催される「時代まつりin文京」。文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため実施されます。そして、このまつりのメインイベントが、文京区ゆかりの人物をイメージした衣装を着て子どもたちが街を練り歩く「時代まつり行列」です。

公募により選ばれた100名の文京区在住の小学生が、竹千代（家康の幼名）、於大姫（家康の生母）、千姫（家康の孫）役をメインに家来や侍女に扮して、徳川家ゆかりの傳通院から礫川公園までおよそ700メートルのコースを歩きます。行列には将軍家及び文京区にゆかりのある大名家のご当主や協力団体の方も加わり、参加者は総勢200名程度となる予定です。

また、「時代まつりin文京」では、「時代まつり行列」と並行して、ス

タート地点の傳通院とゴール地点の礫川公園を会場に、様々なイベントが開催されます。まず傳通院では、地元町会による模擬店など、主に子ども向けのイベントが開催されます。また、礫川公園では物産展が開催され、千姫ゆかりの地である茨城県常総市をはじめ文京区と交流のある自治体に参加します。なお、当日はキッチンカーや飲食エリアも設置される予定です。



時代まつり in 文京

開催日時：令和5年11月3日（金曜・祝日）
10時～16時

場 所：傳通院・文京区立礫川公園

事業内容：時代まつり行列（10時30分～11時30分頃予定。傳通院出発～礫川公園到着）、物産展（10～16時予定）



時代まつり in 文京
HP

傳通院

応永22（1415）年、浄土宗第七祖了誉が開山し、無量山寿経寺の名で開創された寺院。それから200年後の慶長7（1602）年、徳川家康の生母於大の方が逝去し、法名を「傳通院殿尊光岳智香大禅定尼」と号し、ここを菩提寺としたことから「傳通院」と呼ばれるようになりました。正保4（1647）年には徳川家光の次男亀松君が葬られ、以来徳川幕府の外護を賜り、諸堂伽藍が整えられました。傳通院墓地北側には広大な一画に徳川家の墓域があり、千姫をはじめ徳川家ゆかりの女性の墓が数多く建っています。

また傳通院は「文京朝顔・ほおずき市」のメイン会場となっており、期間中には朝顔の鉢植え販売や伝統芸能のパフォーマンス、地元町会による模擬店など、さまざまなイベントが催されます。令和元（2019）年には「時代祭」が開催され、於大の方や千姫に扮した女性が参道を練り歩きました。



文京区小石川 3-14-6
境内自由
<http://www.denzuin.or.jp>



夏には区の文化施設を巡る カードラリーを実施

全国藩校サミット文京大会記念事業として7月1日から8月31日まで開催された「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリー」は、文の京ミュージアムネットワーク（区内の博物館・美術館・庭園により結成。通称文京ミュージズネット）加盟施設を巡ってアプリ上でカードを集め、獲得した枚数によって豪華景品に応募できるというもの。この機会に、区内外から多くの方々が区内の文化施設を訪れました。

なお、同加盟施設の一部では、記念事業の一環として、特別展示等を行う予定です。このように、区営施設に限らず、区内のさまざまな文化施設も記念事業に協力するなど、区を挙げてイベントを盛り上げています。

文京区では、20年ぶりの開催となった全国藩校サミット文京大会と、この大会に関連する数々の記念事業をきっかけとして、より多くの方々に区の魅力を発信してまいります。

文京区には、江戸初期より多くの大名屋敷等が立ち並び、現在でも史跡や庭園としてその姿を残しています。旧藩・徳川家ゆかりの施設等では、獲得できるカードが2枚となります！この機会に、ぜひ沢山の施設を巡ってみてください！（実施期間中、旧藩・徳川家関連の展示等を行っているとは限りません。）

※休館日・開館時間等は7・8月の状況を記載しております。
※休館日等に変更がある場合があります。最新の情報は各施設のHP等でご確認ください。

1 日本女子大学成瀬記念館
文京区成瀬4-1-1
開館時間：10:00～16:30（土曜日は16:00まで）
休館日：日・月・祝日 ※8月1日は全日休館

2 肥後細川庭園
文京区豊島1-1-22
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：なし

3 永寿文庫
文京区豊島1-1-3
開館時間：10:00～16:30（入館は14:00まで）
休館日：月曜（7/17休館）、7/18（火）～7/28（金）

4 鳩山会館
文京区豊島2-1-3
開館時間：10:00～16:00（入館は15:30まで）
休館日：月曜（祝日の場合は休館） 8月1日は全日休館

7 ファーブル昆虫館
文京区千駄木5-44-2
開館時間：13:00～17:00
休館日：土・日・月・祝日

8 旧安田精進邸庭園
文京区千駄木5-20-18
開館時間：10:30～16:00（入館は15:00まで）
休館日：水・土曜日のみ休館 8/10（月）～10/10（日）は夏季休館

9 日本医科大学厚生学舎ギャラリー
文京区千駄木3-20-7
開館時間：10:00～16:00（入館は15:30まで）
休館日：土・日・祝日

10 文京区立森鷗外記念館
文京区千駄木8-23-4
開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）
休館日：8月4日・火曜、7/10（月）～13（日）

11 徳川幕府 竹久夢二美術館
文京区本郷4-2-4
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月曜（祝日の場合は休館） 8/10（月）～10/10（日）は夏季休館

12 六義園
文京区本郷6-16-3
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：なし

13 東洋文庫ミュージアム
文京区本郷7-1-1
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：火曜（祝日の場合は翌日）

14 東京大学総合研究博物館
文京区本郷7-1-1
開館時間：10:00～16:30（入館は15:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

15 国立近代建築資料館
文京区本郷4-15
開館時間：10:00～16:30（入館は15:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

16 東京大学文学部図書資料室
文京区本郷4-15
開館時間：10:00～16:30（入館は15:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

17 印刷博物館
文京区本郷3-3-1
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

18 小石川後樂園
文京区小石川4-6
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：なし

19 講道館柔道資料館・図書館
文京区春日1-16-30
開館時間：11:00～18:00（入館は17:45まで）
休館日：土・日・祝日

20 野塚庭園博物館
文京区春日1-3-61
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

21 Gallery AsMo
文京区春日1-3-61
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

22 トキョーアーガントスペース本郷
文京区本郷2-4-16
開館時間：11:00～18:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

23 東京都水道歴史館
文京区本郷2-1-1
開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

24 お茶の水おがみ会館
文京区湯島1-14
開館時間：9:30～16:30
休館日：月・日・祝日

25 史跡 湯島聖堂
文京区湯島4-25
開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日：月・日・祝日 ※8月1日は全日休館

「全国藩校サミット文京大会」記念事業

開催日	事業名	会場
10/28 (土)～12/10 (日)	特別展「湯島の地に聖堂あり―江戸・東京の学び舎と文京―」	文京ふるさと歴史館（文京区本郷 4-9-29）
11/3 (金)祝	時代まつり in 文京	傳通院（文京区小石川 3-14-6） ～磯川公園（文京区春日 1-15）
11/14 (火)～21 (火)	企画展「ぶんきょうの学び舎展～昌平坂学問所が未来に紡ぐもの～」	ギャラリーシビック （文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター 1 階）
12/3 (日)	「湯島聖堂にみる伊東忠太の建築意匠（仮）」講師：東京大学角田真弓氏	文京ふるさと歴史館（文京区本郷 4-9-29）
12/7 (木)	特別展附帯事業・史跡めぐり「江戸の学問の足跡を巡る」※	アカデミー文京 学習室 （文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター B1 階）
9～12月	文京アカデミア講座※	

・実施内容等については、変更となる場合があります。
・一部事業のみ掲載しております。そのほかの記念事業については、HPをご覧ください。
※ 事前申込制となります。



取材協力 / 文京区